

**第 19 次いわき市水道事業経営審議会
委嘱状交付式、諮問及び第 1 回審議会議事録**

【委嘱状交付式及び諮問】

1 日 時 令和 6 年 1 月 23 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 00 分

2 場 所 水道局 3 階 第 1 会議室

3 出席者

(1) 内田市長

(2) 委員 (出席：14 名)

今井滋、葛城博徳、上遠野恭子、金田晴美、河合伸、木村千春、草野充宏、熊田哲也、小林正喜、齊藤千代子、鈴木玉江、原田正光、星隆之、柳澤晋
(欠席：1 名)

石山伯夫

※ 50 音順・敬称略

(3) 事務局 山田管理者、則政局長、佐藤次長、阿部総務課長、

秋山人材育成・防災力向上担当課長、佐野経営戦略課長、遠藤営業課長、深澤配水課長、緑川工務課長、齋藤浄水課長、本村南部工事事務所長

○経営戦略課

齋藤主幹、鈴木補佐

[企画係] 内田係長、渡邊専門技術員、根本主査、三戸主事、國分主事

4 傍聴者 3 名

5 次 第

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 市長あいさつ

(4) 委員紹介

(5) 審議会会長及び副会長の選出

(6) 諮問

6 委嘱状交付

いわき市水道事業経営審議会条例第 3 条第 2 項の規定に基づき、内田市長から委員に委嘱状が交付された。

7 審議会会長及び副会長の選出

いわき市水道事業経営審議会条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、会長に原田正光委員、副会長に河合伸委員が選出された。

8 諮問

いわき市水道事業経営審議会条例第 2 条の規定に基づき、内田市長から審議会に対し、次の事項について諮問がなされた。

○ 今後の水道事業経営について

- ・ いわき水みらいビジョン 2031 の取組状況について

- ・ 水道料金体系のあり方について
- ・ その他経営に関する諸課題等について

【第1回水道事業経営審議会】

1 日 時 令和6年1月23日（火） 午後2時00分～午後3時20分

2 場 所 委嘱状交付式及び諮問に同じ

3 出席者

- (1) 委員 委嘱状交付式及び諮問に同じ
- (2) 事務局 委嘱状交付式及び諮問に同じ

4 会議形式 公開

5 傍聴者 0名

6 会議次第

- (1) 開会
- (2) 水道事業管理者あいさつ
- (3) 職員紹介
- (4) 議事
 - ア 会議形式等について
 - (ア) 議事録について
 - (イ) 会議の公開・非公開について
 - (ウ) その他
 - イ 諮問内容について
 - ウ いわき市水道事業経営審議会の概要について
 - エ 水道事業の概要について
 - オ その他

(5) 閉会

7 審議事項

(1) 会議形式等について

ア 議事録について

事務局より、本審議会の議事録について、自由で建設的な意見の創出を目的に、第18次審議会と同様に、発言内容は要点を記録する要点記録方式とし、かつ議事録内の発言者名については氏名を特定せず単に「委員」とする方式とすること、また、作成した議事録については、次の審議会で諮り、了承を得た後に公開することとしたいとの提案があった。

<審議要旨>

○ 審議会は、議事録の取扱いについて了承した。

イ 会議の公開・非公開について

事務局より、会議の公開・非公開について、活動の公正性及び透明性を確保する観点から原則公開とするが、取扱いに慎重を期する案件の場合は、議事冒頭において公開か非公開を決定することとし、非公開とされた会議の資料等については、答申後に公表を

行う取扱いとしたいとの提案があった。

<審議要旨>

- 審議会は、会議の公開・非公開について了承した。

ウ その他

事務局より、委員名簿について、これまで同様ホームページや広報紙、公式 SNS に掲載することとしたいとの提案があった。

- 審議会は、委員名簿の取扱いについて了承した。

(2) 諮問内容について

<事務局説明>

- 諮問書（写）に基づき説明を行った。

(3) いわき市水道事業経営審議会の概要について

<事務局説明>

- **資料1**「第19次いわき市水道事業経営審議会の概要」に基づき説明を行った。

<審議要旨>

- 委員から、「諮問の内容のうち、3点目である『その他経営に関する諸課題等について』、現段階で想定している課題等はあるのか。」と質問があり、事務局から、「現時点では、何かを予定している訳ではないが、2年間の期間の中で、審議・答申していただいた方が良い課題等が生じた場合、この事項により対応することを想定している。」と回答した。

- 前項の事務局からの回答に対し、委員から、「第18次審議会においても議論した広報については、重要と感じている。」との意見があった。

(4) 水道事業の概要について

<事務局説明>

- **資料2**「水道事業の概要について」に基づき説明を行った。

<審議要旨>

- 委員から、「給水原価が年々上昇している要因は何か。」と質問があり、事務局から、「給水原価は、経常的にかかる費用を有収水量で割り返して算出するものであるが、費用については約9割が固定的にかかるもので変動が無いのに対し、年間有収水量は年々減少しているため、費用を年間有収水量で割り返すと、結果的に、単価が年々上昇することとなる。また、令和3年度から令和4年度にかけて大きく単価が上昇したのは、電気料金の高騰が要因である。」と回答した。

(5) その他

- 次回の審議会について

- ・ 審議内容 水道施設の視察
- ・ 日 時 令和6年3月14日（木）午後

8 閉 会